

PDFデータを、IBM iからサーバレス・セッションレスで、ダイレクトにオフィス複合機やレーザープリンタに印刷する。

アイエステクノポートでは「UT/400-iPDC」と「UT/400 ダイレクト印刷オプション」の組み合わせにより、IBM iプリンタのオープン化を戦略的に推進している。

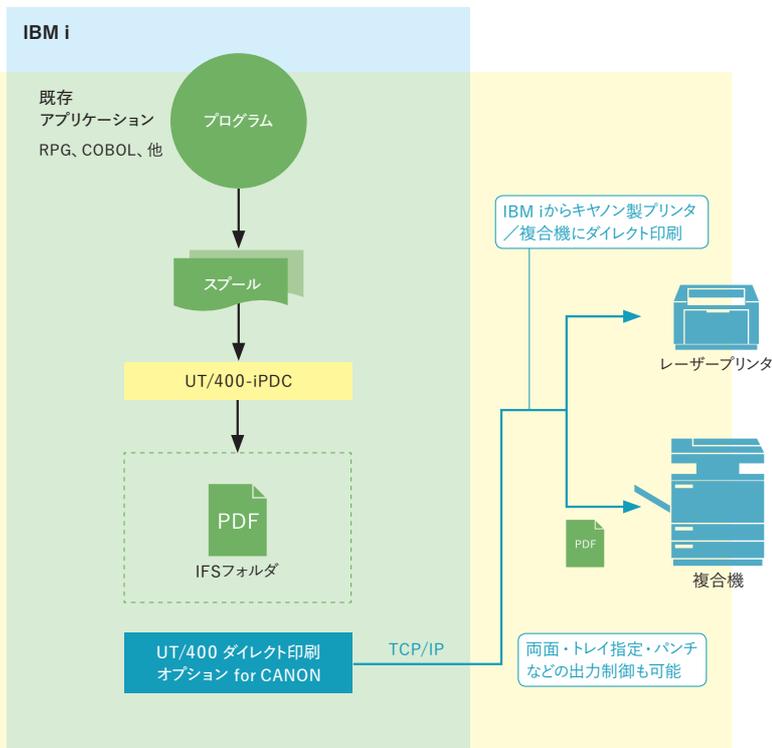
今年4月、同社はキヤノン製のオフィス複合機やレーザープリンタをターゲットにした「UT/400 ダイレクト印刷オプション for CANON」の提供を開始した。

このダイレクト印刷オプションは、富士ゼロックス、コニカミノルタに続き、第3弾のリリースとなる。これによりオフィスプリンタ市場の主要製品に対して、IBM iからダイレクトにPDFファイルを印刷できるようになったわけだ。

「UT/400-iPDC」と「UT/400 ダイレクト印刷オプション for CANON」を連携させることで、IBM iのスパールデータからPDF帳票を生成し、キヤノン製のオフィス複合機やレーザープリンタへ出力する（図表1）。従来、IBM iの基幹データを出力するのに必要だったPCOMMやIBM i Access、あるいは中間サーバーの類は一切必要ない。

また出力時に両面印刷・トレイ指定・ス

図表1 IBM iからのダイレクト印刷の仕組み



テーブル・パンチやセキュリティ印刷など、プリンタが備える標準機能・オプション機能をメニュー画面から簡単に制御し、5250上で一元管理できるようになる。

さらに基幹帳票をPDF化することで、帳票を宛先ごとに仕分けしてFaxやメールで

自動配信できるので、帳票管理・配布にかかわるコストを大幅に削減できるだろう。

今回の連携オプションにより、IBM iプリンタのオープン化はさらに進展することになりそうだ。🌀

UT/400 ダイレクト印刷オプション for CANON

新製品 | プリンティングソリューション

IBM iからキヤノンの複合機やレーザープリンタへPDFをダイレクトに印刷

株式会社アイエステクノポート
▶ <http://www.istechnoport.co.jp/>